

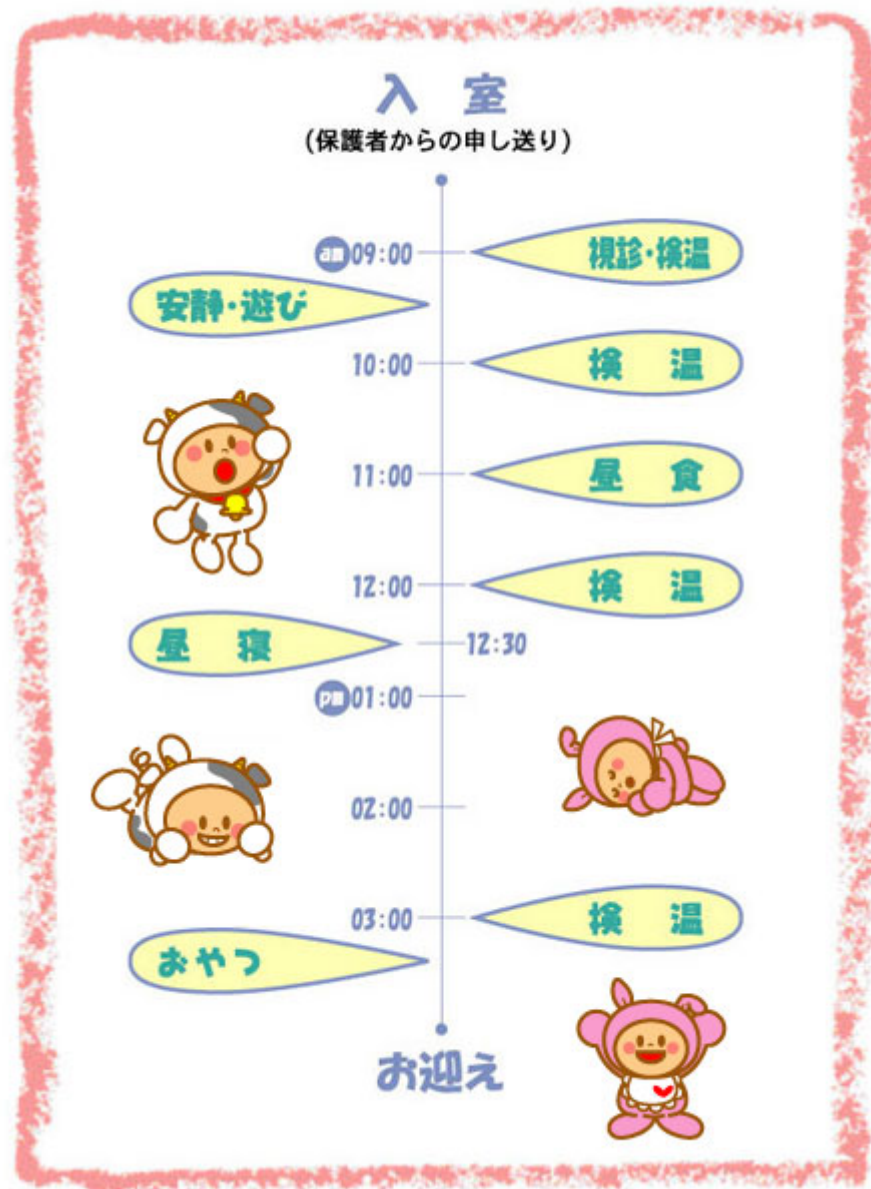
病児保育室「きりん」御利用のてびき

病児保育室「きりん」は、お子様が病気の時でも、ご両親が安心して仕事をつづけられ、お子様の病気の快方にお役にたてるような保育室をめざします。

近年、子供の数は減っている一方、出産以後も働きつづける働くお母さんの増加にともない、入園時期が0歳からというケースが増えています。

入園してまもなくは、頻繁に熱を出すなど、健康管理にも細心の注意が必要ですが、職場復帰まもなくで休みがとりにくい親にとっては、この時期をいかに乗り切るかが大きな悩みになっています。

小児科併設の病児保育室「きりん」は、お父さん、お母さんが安心して働きながら子育てをすることをたすける場として、また、お父さん、お母さんと、病気の子どもの看護などを考える場として、大きな力になりたいと考えています。



病児保育室「きりん」

弘前市乳幼児健康支援一時預かり事業委託施設
— あらいこどもクリニック子育て支援局運営 —

登録票は受付、城東コンタクトレンズにあります。

受付 電話番号

27-2233 あらいこどもクリニック
/ 眼科クリニック

27-2235 城東コンタクトレンズ

きりん(麒麟)とは、体は鹿、尾は牛、ひづめは馬、額には狼、角が一本生えているという古代中国の想像上の動物。あるいは、一日千里を走れる駿馬。中国では聖人が出て良い政治を行うと、麒麟が現れるという言い伝えあり。幼い頃から天才的な才知・技芸を発揮し、将来が有望とされる少年を「麒麟児」という。

